

株式会社アイ・エス・ビー

個人投資家様向け会社説明会

2016年9月14日
証券コード：9702

1. 会社概要

2. 売上高と利益推移および分野別売上高

3. 経営施策について

1. 会社概要

2. 売上高と利益推移および分野別売上高

3. 経営施策について

社名・商号

株式会社 アイ・エス・ビー
ISB CORPORATION



URL

<http://www.isb.co.jp>

設立

1970年6月4日

代表者

代表取締役社長 若尾 逸雄

従業員数

連結 1,171名 (2015年12月末比26名減)

上場市場/コード

東証1部 / 9702

上記情報は全て、2016年6月30日現在

THE ISB WAY



私たちは、先見的で卓越した技術力を核とし、チーム ISB の知恵を結集させて、顧客や社会のこれからに役立つ解決策を提案することを、組織の使命とします。

よりよい ICT 社会を実現するチーム ISB

1. 卓越した技術とサービスを提供するチーム ISB
2. 国際競争を勝ち抜くチーム ISB
3. 次世代に通用する人材を育成するチーム ISB

Challenge the “NEW TECHNOLOGY”

私たちは、新しい時代の変化を先取りし、顧客や社会のニーズに応えられる組織になります。

Challenge the “GLOBAL VALUE BUSINESS”

私たちは、グローバル企業として新しい知識集約型ビジネスを生み出す、専門性の高い組織になります。

Challenge the “TEAM COLLABORATION”

私たちは、高度な専門知識を身につけ、仕事にやりがいと生きがいを見出し、ともに働く仲間に誇りを持つ組織となります。

Challenge the “TRUE PROFESSIONAL PERSON”

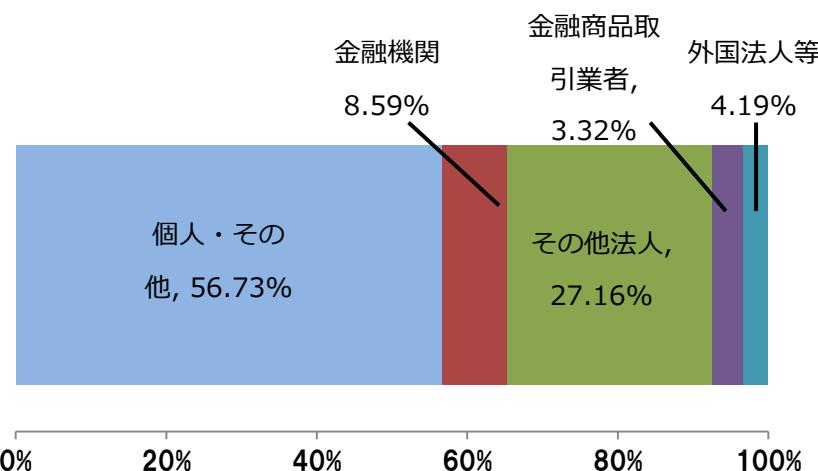
私たちは、あらゆる仕事を通じて、一人の人間として本質的な成長を目指す組織になります。

◆大株主情報 (2016年6月末)

株主名	持株数 (株)	持株比率
有限会社若尾商事	1,200,700	23.51%
アイ・エス・ビー従業員持株会	323,000	6.32%
若尾 一史	135,500	2.65%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	132,500	2.59%
稲葉 正作	132,200	2.58%
株式会社第一情報システムズ	90,000	1.76%
ROYAL BANK OF CANADA (CHANNEL ISLANDS) LIMITED-REGISTERED CUSTODY	80,000	1.56%
株式会社K S K	61,600	1.20%
喜多 利之	50,400	0.98%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	46,300	0.90%

◆所有者別株式分布状況 (2016年6月末)

	株主数	株式数	株式数分布比率
個人・その他	2,736	2,896,735	56.73%
金融機関	21	438,400	8.59%
その他法人	35	1,386,650	27.16%
自己株式	1	6	0.00%
外国法人等	28	214,000	4.19%
金融商品取引業者	28	170,009	3.33%

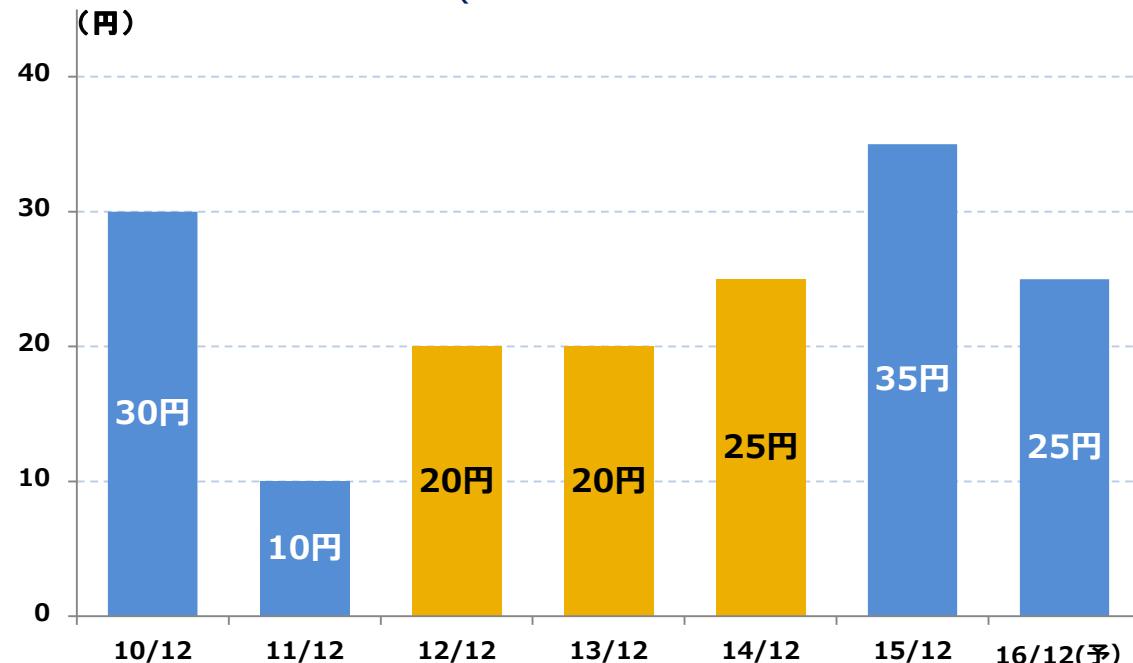


株主価値・企業価値の最大化に向けて

- 事業拡大・利益増加による時価総額増大を目指す。
- 内部留保を勘案の上、可能な限り安定した配当を継続していく方針。
(配当性向は30%を目標に)

◆ 一株あたり年間配当金推移

(普通配当・特別配当・記念配当を含む)



相応の純利益計上できた年は配当性向30%をメドに配当実施。

純利益少ない年は安定配当方針を優先。
→結果、高い配当性向に。

配当性向	302%	—	25%	34%	21%	99%	46%

2016年3月 株主総会にて 監査役会設置会社から監査等委員会設置会社 へ移行しました。

監査役会設置会社

取締役会

若尾 逸雄
柳沢 一紀
川崎 工三
竹田 陽一

監査役会

監査役

太田 道也
細上 諭
橋 薫
藤ノ木 清

監査等委員会設置会社

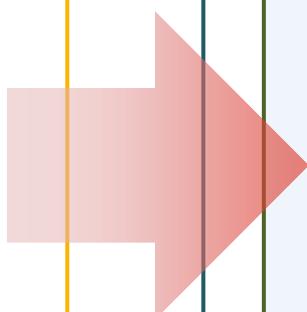
取締役会

若尾 逸雄
柳沢 一紀
川崎 工三
竹田 陽一

監査等委員会

監査等委員 (取締役)

若尾 一史
細上 諭
橋 薫
藤ノ木 清



1. 会社概要

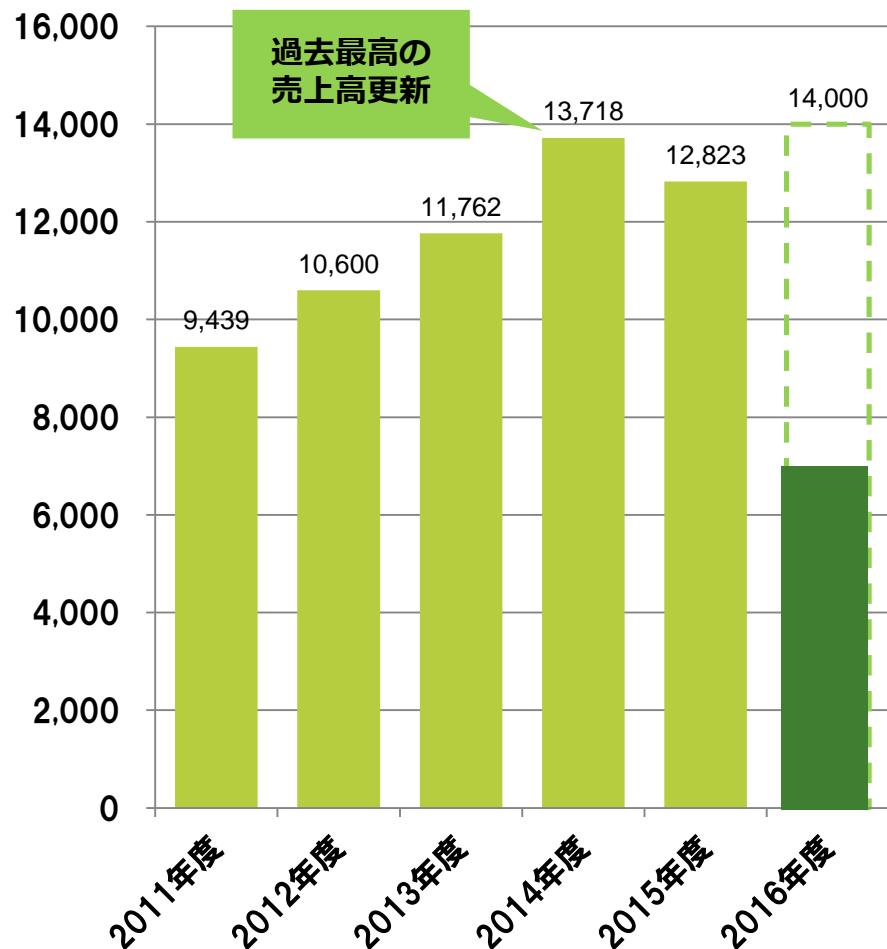
2. 売上高と利益推移

および分野別売上高

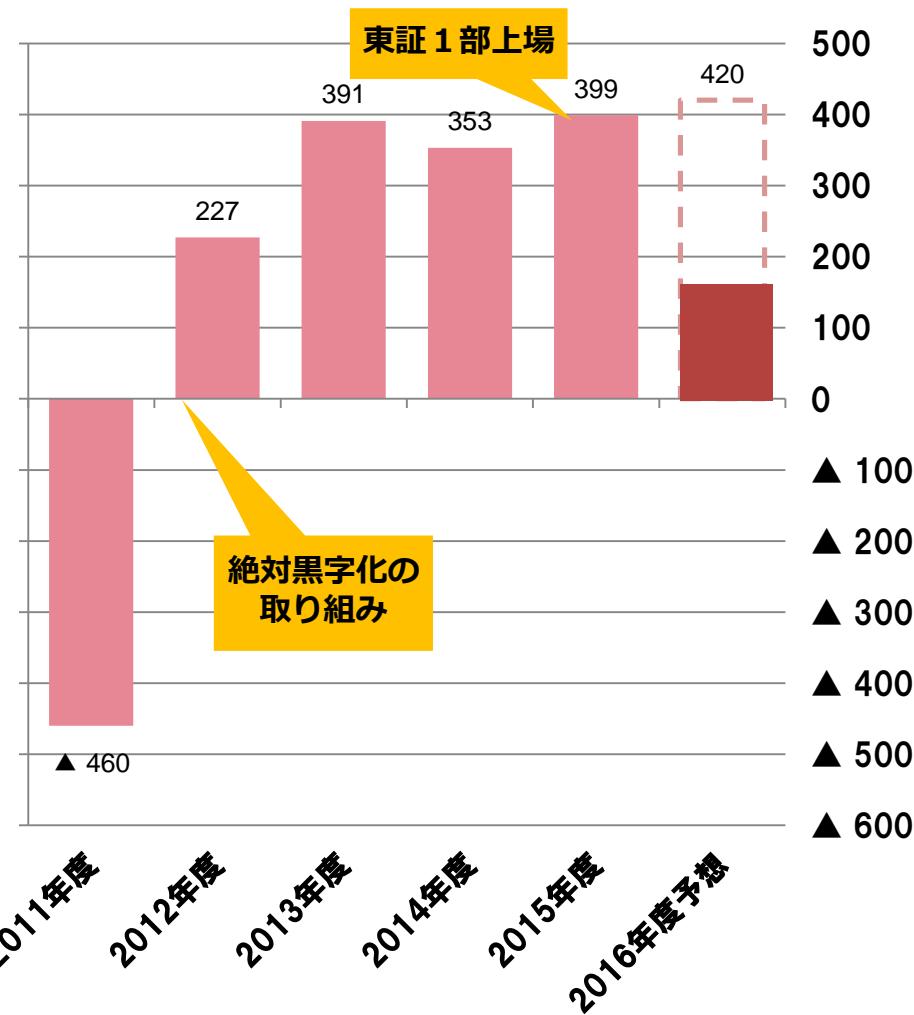
3. 経営施策について

既存事業と新事業の両面から営業利益回復へ

連結売上高（百万円）



連結営業利益（百万円）



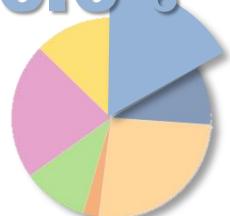
過去最高の
売上高更新

東証1部上場

絶対黒字化の
取り組み

さまざまな分野で培ったコア技術とサービスを融合し、統合ソリューションを提供

16.6%



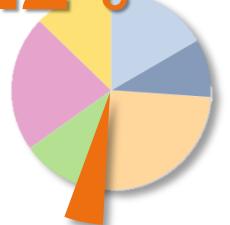
9.5%



25.9%



4.2%



携帯端末

通信向けソフトウェア開発及びシステム構築コンサルティング

- ・スマートフォンソフトウェア開発
(アプリ、ミドル層、無線系)
- ・MDM事業



モバイルインフラ

モバイルに関わる通信インフラ機器装置のソフトウェア開発及び開発支援ツールの開発

- ・移動無線基地局ソフトウェアの開発
- ・次世代無線プロトコル研究開発
- ・Wi-SUN/公共BB事業



組込み

組込み系ソフトウェア開発

- ・車載関連ソフトウェアの開発
- ・医療機器向けソフトウェア開発
- ・通信モジュールソフトウェアの開発
- ・POSシステムのミドル・ドライバー系の開発
- ・L-Share事業



検証

国内・海外向け携帯端末及び
インフラ機器（基地局・交換機等）の検査業務



さまざまな分野で培ったコア技術とサービスを融合し、統合ソリューションを提供

10.5%

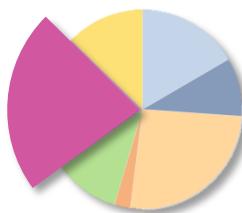


金 融

基幹システム・勘定系・為替・融資等のコンサルティング、
ソフトウェア開発・運用
・証券系システムのソフトウェア開発
・銀行系システムのソフトウェア開発
・生損保系システムソフトウェア開発



22.1%

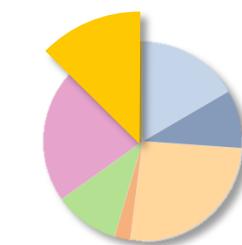


情報サービス

官庁・公共・自治体・民間企業向けソフトウェア開発及び運用
・各自治体に向けた公共ソフトウェア開発
・中央官庁に向けたシステムの再構築
・民間放送事業者向けシステムの提供
・民間企業向けトータルソリューションサービスの提供



12.8%



フィールドサービス

データセンターサービス・運用設計・クラウド等インフラ構築・
保守等のシステム開発
・データセンター事業
・インフラ構築サービス
・運用サービス
・M2M/Caretive/Fine Rezept事業



2-3. 2016年12月期 2Q連結損益計算書

(単位：百万円)	2015年12月2Q期累計		2016年12月期2Q累計		前年比	
		構成比		構成比		増減率
売上高	6,127	100.0%	6,630	100.0%	503	108.2%
売上原価	5,396	88.1%	5,717	86.2%	320	105.9%
売上総利益	731	11.9%	913	13.8%	182	125.0%
販売管理費	639	10.4%	741	11.2%	101	115.9%
営業利益	91	1.5%	172	2.6%	81	188.8%
経常利益	76	1.2%	193	2.9%	116	252.8%
特別損益	2	0.0%	△2	0.0%	△4	—
法人税等合計	△51	△0.8%	△78	△1.2%	△26	152.0%
当期純利益	26	0.4%	112	1.7%	85	417.4%

◆売上高

「組込み」分野の増加と、昨年7月にインフィックス社を子会社化したことが、前年同期比増加の主要因。工事進行基準適用による影響額や、仕掛残高は概ね前年同期並み。

◆利益

主にプロジェクト管理強化による収益性の改善が寄与、売上総利益は1.9ポイント向上し、のれん償却額増加などによる販売管理費率0.8ポイントの悪化を吸収し、営業利益率1.1ポイント向上となった。経常利益は前年同期に株式公開費用があったことから前年同期比大幅増加となった。

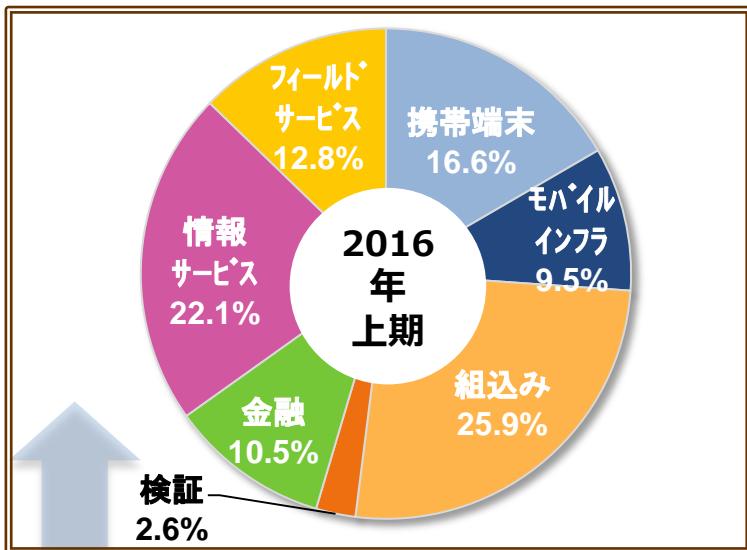
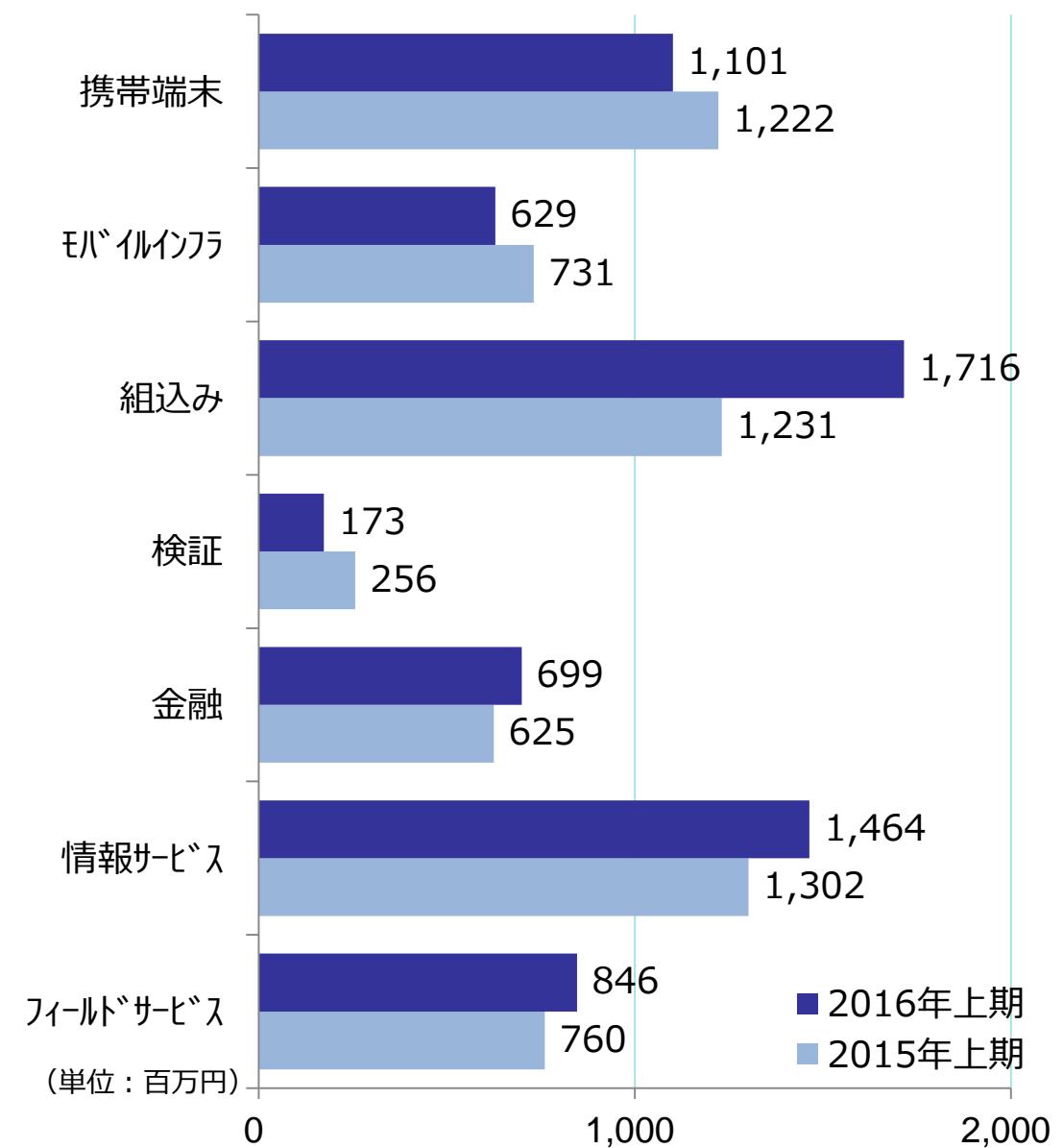
◆工事進行適用による影響額

	2015年度2Q	2016年度2Q
売上高	208百万円	147百万円
粗利益	28百万円	22百万円

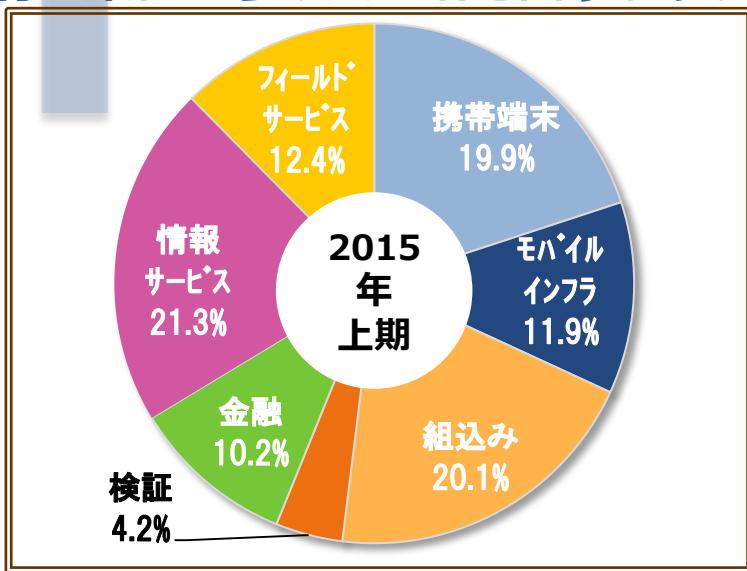
◆期末仕掛残高比較

2015年6月末	2016年6月末	前年比
234百万円	278百万円	44百万円

2-4. 連結分野別売上高 & 構成比 前期比較



「組込み」分野にて、
有望業種からの受注増を図ります。



1. 会社概要

2. 売上高と利益推移および分野別売上高

3. 経営施策について

3-1. 経営施策について

1. ITサービス事業へのシフト

新事業展開

2. 新規優良顧客の獲得

新規分野 顧客獲得増
既存分野 業務拡大
請負業務の拡大
受注単価の改善

3. コスト競争力強化

不採算プロジェクトの減少
作業効率の改善
社員パフォーマンスの向上

4. グループの連携強化

拠点戦略
販管費の削減

新事業

公共機関向け
ブロードバンド機器



センサーデバイス向け
無線プロトコル



M2M
クラウドプラットフォーム



モバイル
デバイスマネージメント



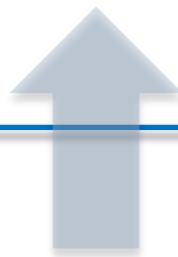
訪問看護向け
モバイルサービス



医療
ITソリューション



医療機関向け
レセプト解析サービス

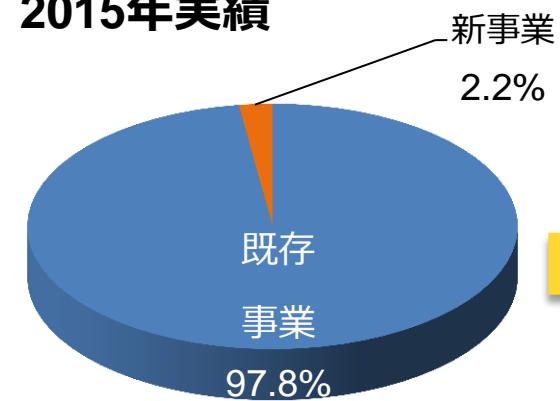


既存事業

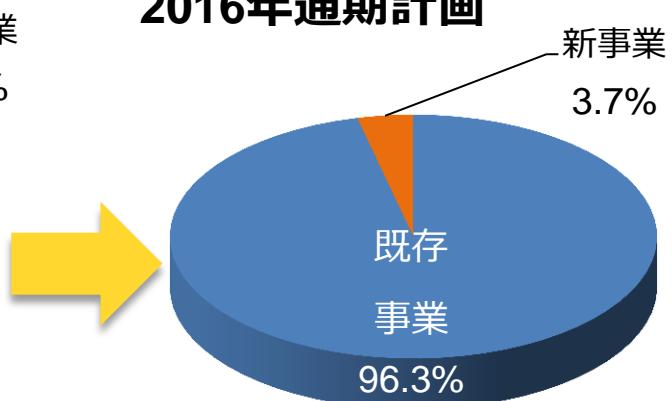
受託開発で培った技術・ノウハウの活用

■新事業と既存事業の売上計画と実績

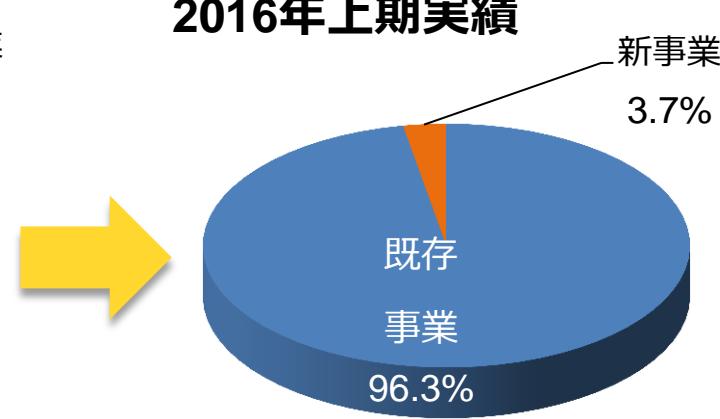
2015年実績



2016年通期計画



2016年上期実績



次期は開発投資完遂の計画。
並行して収益獲得フェーズへ。

計画通りに推移中。
Wi-SUNエンジニア関連業務の
売上やMDM売上が好調。

センサネットワークにおけるWi-SUN無線プロトコルスタックをベースにデバイス開発エンジニアリングの提供から無線技術を活かしたネットワークサービス、データセンターを活用したM2Mクラウドサービス及びアプリケーションサービスまでをトータルで提供。

News !

- 「IoTトータルコーディネート」サービスの提供開始
- 新たに接続可能なデバイスが増えました。
 - コンピューテックス様 (CM-3G)

開発事例

- **畜産** : 生体センシング
- **橋梁** : ヘルスモニタリング
- **農業** : ワイン向けブドウ生産管理
- **交通** : 鉄道向けモニタリング

システム



ISBの提供する技術レイヤ

サーバインフラ構築



アプリケーション



プラットフォーム

セキュリティー



WAN

センサネットワーク構築



ゲートウェイ

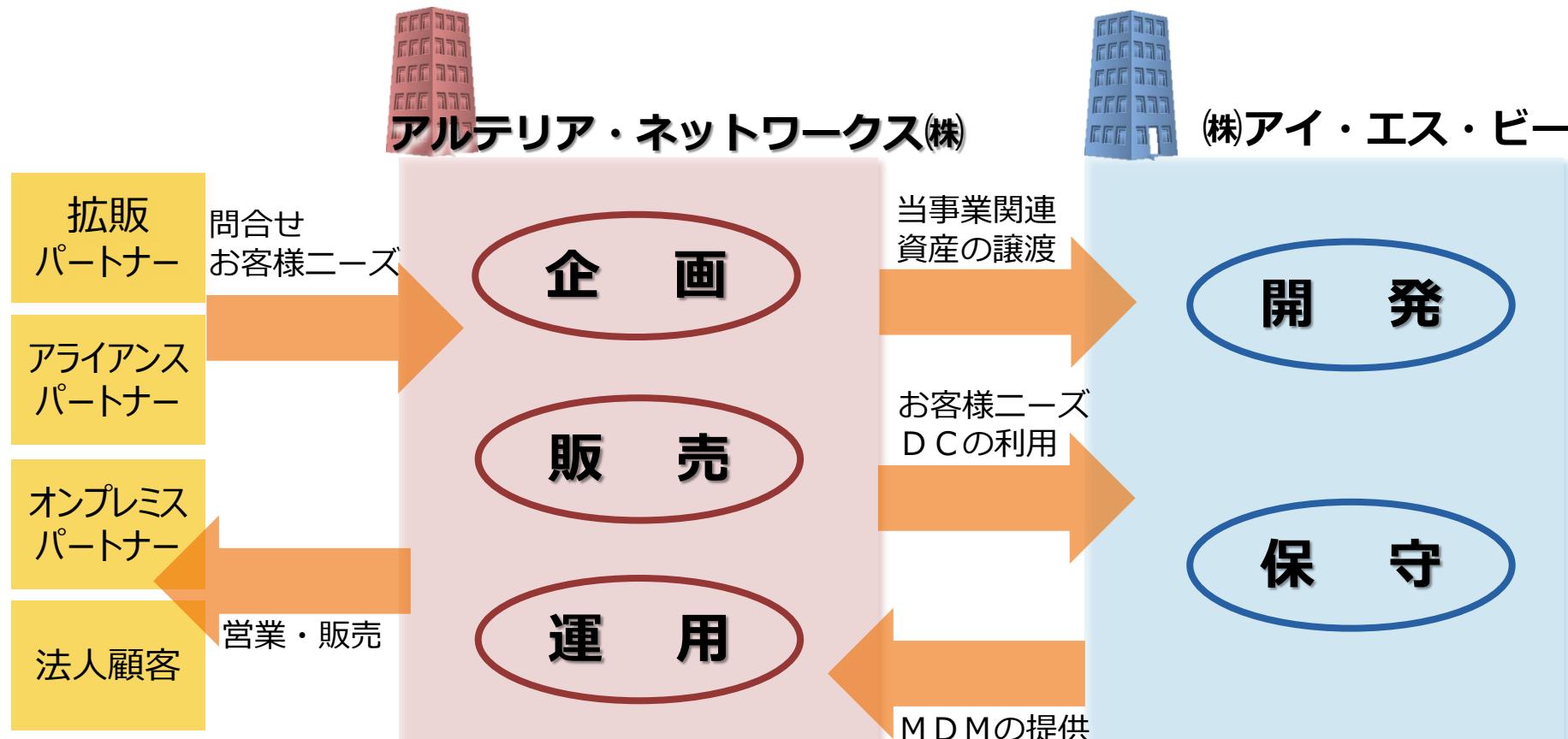


センサネットワーク



デバイス

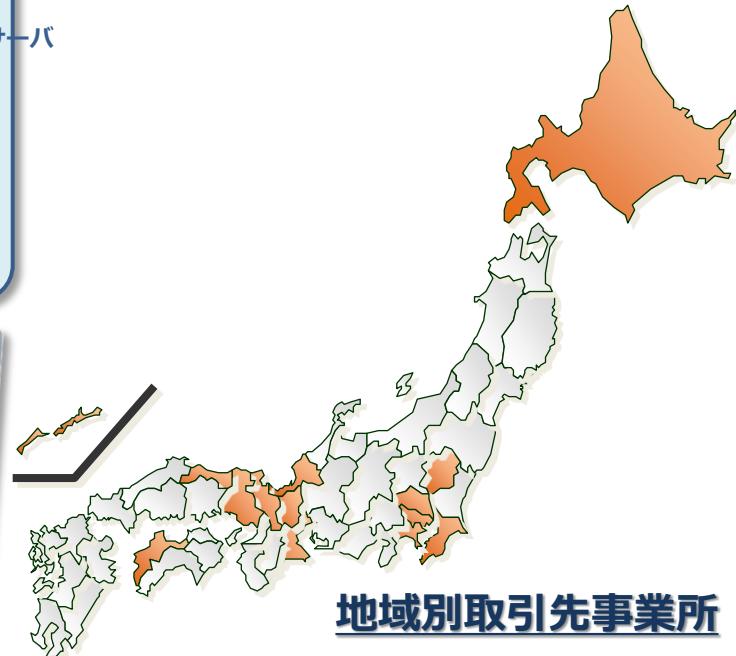
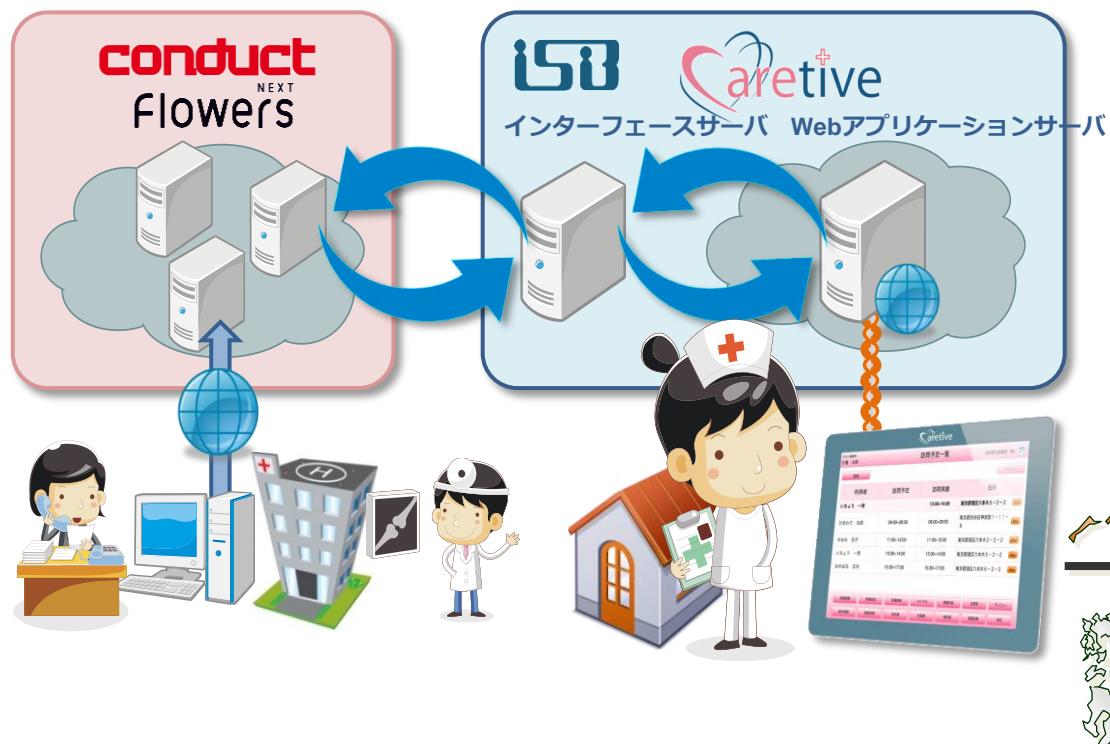
MDMは「端末管理」や「スマートデバイス活用」を促進するサービスです。
「全ての人に安心と安全なモバイルライフを提供する」をコンセプトにアルテリア・ネットワークス社が単独で提供していたMDM事業を共同で展開しております。



3-2-4. 新事業 (ケアティブ)

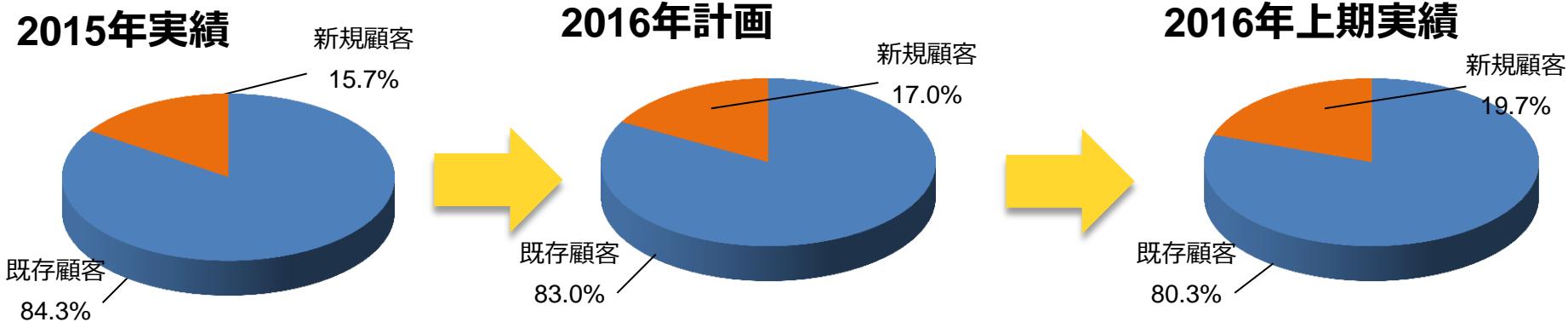
株式会社コンダクトが提供する介護事業者向けサービスの
クラウド版「Flowers NEXT on Cloud」のサービスの一つである訪問看護システム
「コスモス」と連携し、モバイル端末（タブレット）から利用者様の訪問看護記録データ
の参照、登録を行うWebアプリケーション。

- ・2013年4月サービスイン。
- ・2016年7月現在、23事業所（118ライセンス）で稼働中。
- ・今後、オンプレミス版、スマホ版の導入を予定、ラインアップの拡充を図る。



有望な産業分野への進出と優良顧客の獲得

■新規取引先 売上高計画と実績



円グラフ中の新規顧客比率は、2013年末の売上高を全て既存顧客とし、2014年以降獲得した新規顧客売上高の比率を表しています。

今期の新規顧客獲得は計画以上の成果。
2014年、2015年は新規顧客増加注力が結実。
2016年新規顧客獲得自体より、直近2年間で
獲得した顧客のうち、より有望な顧客群で業務拡大を推進。

3-4. コスト競争力強化 (不採算プロジェクトの減少)

プロジェクト管理強化 ⇒
週単位での作業予定時間と実績の管理

前年同期比（上期）計画20%削減に対し、
34%削減！

【CHECK】

- ・受注判定会の実施、
- ・不採算・低採算プロジェクトの発生を監視

【ACTION】

- ・対策の実施状況
- ・効果のトレース

監視
判定

効果
測定

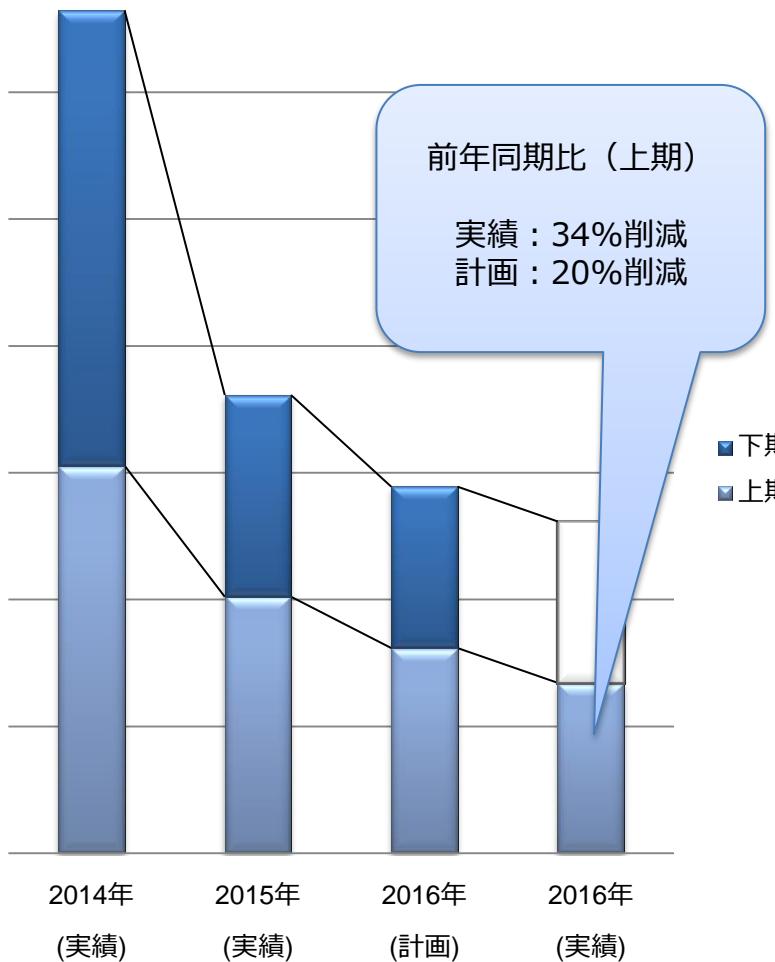
対策
検討

対策
実行

【DO】

- ・不採算・低採算プロジェクトの削減対策の実行

年度別不採算プロジェクト累計推移



3-5-1. グループの連携強化（連結子会社紹介）

(2016年6月現在)



株式会社
インフィックス

シナジー効果
(首都圏)



ノックスデータ
株式会社

シナジー効果
(ニアショア)



株式会社札幌
システムサイエンス



株式会社
エス・エム・シー

グローバル戦略
(オフショア)



株式会社
アイエスピー東北

- ▶ **株式会社エス・エム・シー**：得意分野はフィールドサービス。今後は開発業務や、自社製品販売も。
- ▶ **ISB VIETNAM COMPANY LIMITED**：海外戦略の中心。
- ▶ **株式会社アイエスピー東北**：創立5周年。産学官共同開発など、地場に密着した事業展開。
- ▶ **ノックスデータ株式会社**：モバイルインフラ分野を中心に、営業展開や業務の共有化などで、シナジー効果を発揮。
- ▶ **株式会社札幌システムサイエンス**：得意分野は公共系業務。情報サービス分野の売上に大きく寄与。
- ▶ **株式会社インフィックス**：2015年7月から子会社化。得意分野は金融系・公共系業務

オフショア

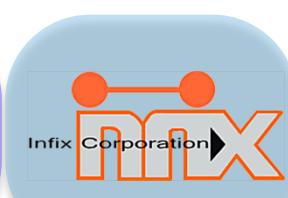
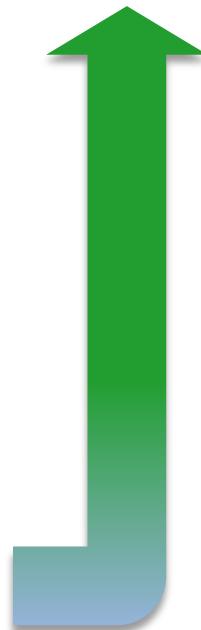
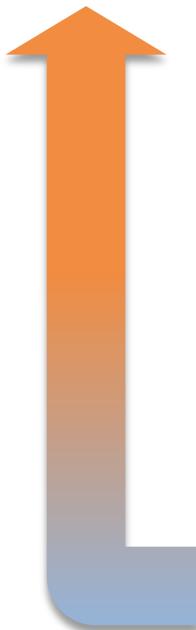


ニアショア



ITの人材不足をコスト面・人材面でも対応できる体制

コスト競争力の強化
技術／ノウハウの共有
得意分野の連携拡大



プロジェクトの要件に合わせて使いわけ
首都圏

2016年12月期通期 連結業績見通し及び配当予想



	2015年12月期 実績	2016年12月期 予想	増減率
売上高	12,823 百万円	14,000 百万円	9.2 %
営業利益	399 百万円	420 百万円	5.2 %
経常利益	427 百万円	435 百万円	1.8 %
当期利益	180 百万円	280 百万円	54.7 %
配当金	35 円	25 円	
配当性向	98.7 %	45.6 %	
純資産配当率	3.2 %	— %	



本資料は、2016年6月期決算の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めて頂くことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2016年6月末時点の状況において作成しております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

<連絡先>

Email: ir-info@isb.co.jp

URL : <http://www.isb.co.jp/>

株式会社 **アイ・エス・ビー**